



3強を見事に打ち負かす!

デーイマジエステイ号皐月賞優勝

4月17日、中山競馬場で開催された「第76回 皐月賞」(GI 芝2000m)で(有)服部牧場生産のデーイマジエステイ号(牡3歳 父デーイブインパクト 母エルメスティアラ)が、8番人気という低評価を覆し、牡馬クラシック一冠目を見事掌中に収めました。

レース前の評価は、早いうちからクラシック候補の呼び声高かったサトノダイヤモンド、2歳チャンピオンのリオンデイズ、最重要ステップレースの弥生賞でリオンデイズを破り優勝したマカヒキの3頭が「3強」と呼ばれ、単勝人気もその通りに1番人気から3番人気までを分け合う形となりました。

レースは、リオンデイズが先頭から2番手、サトノダイヤモンドはほぼ中団、マカヒキは後方から4番手を追走と各馬がそれぞれの持ち味を最大限に活かすためのポジションでレースを進めました。

そして、蛭名正義騎手騎乗のデーイマジエステイは、道中サトノダイヤモンドから3馬身後方を追走し、3コーナーから4コーナーにかけてもサトノダイヤモンドから離されないよう追いかけるようにして進出していきます。

直線で外に持ち出されたデーイマジエステイは、中山の急坂をものともせず一完歩一完歩力強く走り抜け、最後は追い込んできたマカヒキに1馬身と4分の1の差をつけ、優勝を飾りました。

その後、一冠制覇を目指し、5月29日に東京競馬場で行われた日本ダービー(GI 芝2400m)に挑み、直線で十分に力のあるところは見せたもののマカヒキとサトノダイヤモンドの2頭の競り合いから2分の1馬身差の3着に敗れてしまいました。

今後は、夏場を休養に充て、復帰戦は9月18日に中山競馬場で行われるセントライト記念(GII 芝2200m)が予定されています。秋には、また大きな舞台での活躍が期待されます。